

# 診療のご案内

## 大阪はびきの医療センター

Osaka Habikino Medical Center



新病院のイメージ  
(2022年度中開院予定)



地方独立行政法人 大阪府立病院機構  
Osaka Prefectural Hospital Organization

## ～地域に信頼され、地域になくってはならない病院へ～



大阪はびきの医療センター  
院長 山口 誓司

当センター院長の山口でございます。日頃より当センターの運営にご協力頂きありがとうございます。

当センターは、「地域に信頼され、地域になくってはならない病院」を目指し、南河内地域の医療ニーズに応える総合的な医療の拠点病院と、呼吸器・アレルギー・感染症等の専門病院としての取組みを進めております。

沿革も併せ、これまでの取組みを紹介すると、当センターの前身は大阪府立結核療養所羽曳野病院で昭和27年に大阪府の結核医療を担う病院として320床で開院しました。その後、昭和48年に一般病床も加えて、昭和51年大阪府立羽曳野病院と名称変更し総合病院としての機能を充実させ、さらに平成15年には大阪府立呼吸器・アレルギー医療センターへと名称を変更しました。そして、平成29年に現在の大阪はびきの医療センターへと改称しました。その間、結核はもとより難治性の呼吸器疾患とアレルギー疾患の専門病院として専門医療に対応して参りました。結核患者数の減少と共に結核病床を60床まで減らし、一般病床366床と併せて総病床数は現在426床となっています。平成30年にはDPC対象病院へ移行し、さらに大阪府アレルギー疾患医療拠点病院に指定されています。

開設以来70年近くなり、結核患者に代わり、慢性閉塞性肺疾患（COPD）等の慢性呼吸器不全が増加し、加えてアレルギー疾患が多様化してきております。さらに肺がんが死亡率第一位となり、新興感染症が毎年のように発生してきています。

そこで、当センターではこのような疾患構造の変化に対応する下記のセンターを設置しております。

1. 呼吸ケアセンター：急性呼吸不全の集中治療から慢性期の治療とケア
2. 腫瘍センター：各種癌の診断から治療と緩和ケア
3. 感染症センター：結核予防の地域活動から結核と結核後遺症、新興感染症、2類感染症に対する診断と治療
4. アトピー・アレルギーセンター：重症・難治性のアレルギー疾患の診療と治療成果向上の開発（アトピー性皮膚炎、気管支喘息、食物アレルギー、アレルギー鼻炎、好酸球性副鼻腔炎など）

さらには、地域の基幹病院として、循環器内科、消化器内科・外科、乳腺外科、眼科、小児科、泌尿器科の一般診療、産科診療施設の減少に対してはNICUや助産師外来を開設して周産期医療に注力しております。

また、治療と看護、在宅療養との間の調整を看護師と薬剤師の専門スタッフが担っています。特に外来では呼吸器看護専門外来やがん看護専門外来を専門・認定看護師が担当し、薬剤師外来では専門薬剤師が抗がん剤の服薬と副作用確認や小児喘息の吸入指導を行っています。

この4月からは地域医療支援病院として大阪府より承認され、新たな一步を踏み出します。このため、今後は、更に一般診療の充実を図ると共に、南河内地域の基幹病院としての責務を果たすべく患者総合支援センターを核として病診連携を一層すすめて参りますので、引き続きご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

令和3年4月吉日

## 病院のポリシー

### ■ 理念

私たちは、最新の医療水準で、最適な医療サービスを、思いやりの心をこめて提供します。

### ■ 基本方針

- あらゆる呼吸器疾患に対し、常に最高水準の医療を提供します。
- 結核根絶に向けて全人的な医療を提供します。
- アレルギー疾患に対し、最新の知見を取り入れ、最適な医療を提供します。
- 安心して頼りがいのある、府民と地域のための医療機関を目指します。
- 誠意と温かみのある、やさしい看護を実践します。

## 患者の権利

1. 個人として常にその人格を尊重される権利があります。
2. 社会的身分、人種、民族、信条、性別、障害があること等に関わらず、良質な医療を平等に受ける権利があります。通訳、点字等必要な補助をつけて説明を受ける権利があります。
3. 自分が受ける治療や検査の効果や危険性、他の治療方法の有無などについて、わかりやすい説明を理解できるまで受ける権利があります。
4. 自分の治療計画を立てる過程に参加し、自分の意見を表明し、自己決定する権利があります。希望しない医療を拒む権利があります。医療機関を選択し、転退院する権利があります。
5. 自分が受けている医療について知る権利があります。
6. 自分の情報を承諾なくして第三者に開示されない権利があります。

# 外来診療担当医師表 (2021年4月1日現在)

※ 最新の外来診療担当医師表はホームページをご覧ください。



		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
呼吸器内科	午前	1診	※田村香(初)	馬越(初)	松岡(初)	森泉(初)	森下裕(初)
		2診	森下裕	森泉	※田村香	※田村香	枝廣
		3診	-	松岡	馬越	松岡	※田村香
		4診	-	-	-	-	-
	午後	1診	※田村香(初)	馬越(初)	松岡(初)	森泉(初)	森下裕(初)
		2診	森下裕	森泉	-	※田村香	-
		3診	-	松岡	馬越	松岡	※田村香
		4診	-	-	-	-	-
感染症内科	午前	感染症センター	北島(初)	永井崇(初)	韓※(初)	橋本(初)	田村嘉(初)
		午後	北島(初)	永井崇(初)	韓※(初)	橋本(初)	田村嘉(初)
	午前	4診	-	-	橋本	-	-
		5診	永井崇	韓※	田村嘉	田村嘉	永井崇
	午後	4診	-	北島	橋本	-	-
		5診	永井崇	韓※	田村嘉	田村嘉	永井崇
備考欄	4診・5診は、管理診療棟(本館)1階 呼吸器内科にて診察いたします。						
アレルギー内科	午前	1診	源(初)	森田(初)	原(初)	※韓(初)	松野(初)
		2診	緒方	源	松野	石田	※久保田
		3診	-	-	緒方	-	-
	午後	1診	源	-	-	-	松野(初)
		2診	緒方	源	松野	石田	※久保田
		3診	-	-	緒方	-	-
備考欄	森田医師の診察時間は、9:30~12:00となります。(受付は通常通り8:45~11:00可能です。) 原医師の診察時間は、9:00~11:00となります。						
肺腫瘍内科	午前	1診	-	-	鈴木(初)	※田中彰(初)	※森下直(初)
		2診	鈴木	岡本	※森下直	鈴木	岡本
		3診	岡本	-	-	-	※田中彰
		4診	-	白山	-	-	-
	午後	1診	-	-	鈴木(初)	※田中彰(初)	※森下直(初)
		2診	鈴木	岡本	※森下直	鈴木	岡本
		3診	-	-	-	-	※田中彰
		4診	-	-	-	-	-
循環器内科	午前	1診	江角	-	三好	-	江角
		2診	原田	江角	井内	原田	井内
	午後	1診	-	-	-	-	-
備考欄	ペースメーカー外来は、第2・第4木曜日の月2回です。 金曜日2診は不整脈外来です。						
消化器内科	午前	1診	※今村	山崎	山崎	※今村	山崎
	午後	1診	-	-	-	-	-
耳鼻咽喉科	午前	1診	※花田(初)	担当医	※川島(初)	※奥野(初)	小幡(初)
		2診	河辺	※奥野	河辺	※花田	※川島
		3診	※川島	-	※奥野	-	※花田
	午後	1診	-	-	-	-	-
		2診	河辺(検査)	-	※奥野(検査)	※花田(検査)	-
		3診	-	-	-	-	-
備考欄	担当医:(火)第1・3・5 ※中谷医師、第2・4 河辺医師 (火)奥野医師・(金)※花田医師の診察時間は、10:00~12:00となります。(受付は通常通り8:45~11:00可能です。)						
眼科	午前	1診	-	-	-	治村	担当医/水澤
		2診	鴻池	鴻池	鴻池	鴻池	鴻池
	午後	1診	-	-	-	-	-
		2診	-	-	-	鴻池	鴻池
備考欄	(木)1診 治村医師:第1・3・5週、(金)1診 担当医:第1・2・3・5週、水澤医師:第4週						

【ご案内】・初診/予約なしの方は、受付時間 8:45~11:00までとなっております。

- ・地域の医療機関から当センターの地域医療連携室を通して予約して頂きますと待ち時間が短縮できます。
- ・呼吸器総合外来・呼吸器内科・肺腫瘍内科・呼吸器外科・感染症内科・アレルギー内科・皮膚科・耳鼻咽喉科の初診患者は紹介状が必要です。

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	
呼吸器外科	午前	1診	-	北原(初)	-	門田(初)	門田(初)
		2診	-	安藤	-	杉浦	福山
		3診	(担当医)(初)	-	(担当医)(初)	-	-
	午後	1診	-	北原	-	門田	門田
		2診	-	安藤	-	杉浦	福山
		3診	(担当医)	-	(担当医)	-	-
備考欄	月~木曜日まで手術日です。常時緊急対応ができる医師がいます。						
消化器外科	午前	1診	宮崎	-	※西谷	-	酒田
		2診	池田	-	-	-	-
	午後	1診	宮崎	-	-	-	酒田
		2診	野間	-	-	-	-
備考欄	火・木曜日は手術日の為、外来診療を行っておりません。						
乳腺外科	午前	1診	安積	-	安積	-	新崎
		2診	-	-	担当医	-	-
	午後	1診	安積	-	安積	-	新崎
		2診	-	-	担当医	-	-
備考欄	乳腺・甲状腺を診察しています。乳がん検診は羽曳野市の検診のみです。 火・木曜日は手術日の為、外来診療を行っておりません。						
皮膚科	午前	1診	※片岡(予)	※坂本	※片岡(予)	完全予約制	※阿古目
		2診	※阿古目	※広瀬(予)	※益田(予)		※広瀬
		3診	※広瀬(初)	※片岡(初)	※坂本(初)		※益田(初)
		4診	-	予診	※阿古目		-
	午後	1診	※片岡(予)	※坂本	※片岡(予)	完全予約制	-
		2診	※阿古目	※阿古目(予)	※益田(予)		-
		3診	※広瀬	※片岡	※坂本		-
		4診	※坂本(予)	予診	※阿古目		-
備考欄	初診の対象を紹介状をお持ちの患者様のみとさせていただきます。 坂本医師の診察時間は、9:30~となります。(受付は通常通り8:45~11:00可能です。) 火曜日4診(予診)では、初診の問診を行っております。						
小児科	午前	1診	※高岡	深澤	亀田	亀田	吉田
		2診	釣永	釣永	重川	吉田	深澤
		3診	担当医(初)	亀田(初)	担当医(初)	担当医(初)	担当医(初)
		4診	担当医 4診は、小児科一般疾患診療です。(受付 8:45~11:00まで)				
	午後	1診	※高岡	-	亀田	亀田	吉田
		2診	釣永	-	重川	深澤	山口
		3診	※上野	-	※高岡	重川	※高岡
		4診	-	-	小児循環器	山口	-
備考欄	3診 担当医:(月)第1・3・5 吉田医師 (水)第1・3・5 釣永医師 (木)第1・3・5 重川医師 (金)第1・3・5 ※高岡医師 第2・4 深澤医師 第2・4 ※上野医師 第2・4 深澤医師 第2・4 山口医師 第1・3・5(水)4診 小児循環器外来です。担当医制となっております。						
産婦人科	午前	1診	赤田(初)	安川(初)	赤田(初)	安川(初)産科	小川(初)
		2診	小川	西川	※岩井	赤田(初)婦人科	安川
		3診	安川	赤田	中野	脇	赤田
	午後	1診	赤田(婦人科)	安川	-	-	小川
		2診	西川	-	小川	-	-
		3診	安川(産科)	-	中野	-	-
備考欄	水曜日のみ、女性医師がいます。						
泌尿器科	午前	1診	福井	栗林	山口	大草	山本
	午後	1診	-	-	-	-	-
禁煙外来	午後	肺腫瘍内科 5診		橋本(予)	-	-	-
備考欄	火曜日のみ、予約制です。						

当センターには手話通訳者がいます。(9:00~15:45)

(初)…初めて受診の方のみ (予)…予約診療の方のみ ※…女性医師

# 診療科一覧

部門	診療科	診療内容
呼吸器医療部門	(呼吸器総合センター) 呼吸器内科	慢性閉塞性肺疾患や急性呼吸不全など幅広い呼吸器疾患の診療を行っています。
	(呼吸器総合センター) 肺腫瘍内科	肺がんの早期診断から内科的治療、緩和医療に至るまで一貫した診療を行っています。
アレルギー医療部門	呼吸器外科	肺がんをはじめ、結核・気胸など胸部疾患手術に対応しています。
	リハビリテーション科	急性期から慢性安定期のリハビリテーションを実施しています。
	感染症内科	結核や非結核性抗酸菌症などの感染症を専門としています。
	アレルギー内科	気管支喘息などのアレルギー疾患、リウマチ・膠原病などの自己免疫疾患の診療を行っています。
	小児科	小児のアレルギー疾患、呼吸器疾患などを専門とし、一般小児疾患にも広く対応しています。
	皮膚科	アレルギー性皮膚疾患、アレルギー以外の皮膚疾患ともに、重症・難治性皮膚疾患の専門医療を行っています。
	眼科	アレルギー性眼疾患、一般眼科疾患、重症呼吸器疾患患者の眼科治療に対応しています。
	耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科領域のアレルギー疾患の専門的治療と耳鼻咽喉科頭頸部外科一般の検査、治療、手術を行います。
	循環器内科	虚血性心疾患をはじめ、循環器疾患全般にわたる診療をしています。
	消化器内科	消化器系の悪性疾患をはじめ、消化器疾患全般にわたる診療を行っています。
一般医療部門	消化器外科	胃癌、大腸癌等の悪性疾患、胆石等の良性疾患、ヘルニア等の一般外科疾患の診療を行っています。
	乳腺外科	乳がんの標準治療(外科治療、薬物療法、放射線治療)、乳がん再発治療を行っています。
	産婦人科	分娩から婦人科悪性腫瘍まであらゆる産婦人科疾患を対象としています。
	泌尿器科	泌尿器科領域のあらゆる疾患に対応
中央医療部門	麻酔科	各種呼吸器疾患合併患者をはじめ、重症の低肺機能患者の周術期管理にも対応します。
	集中治療科	急性の呼吸不全や循環不全に対する高度な呼吸管理と専門医療を行っています。
	放射線科	CT、MRIや核医学検査などの画像診断、IVRおよび放射線治療を行っています。
	外来化学療法科	外来で抗がん剤治療を行い、日常生活との両立をめざしています。
	臨床検査科	各種検査を行い、迅速に正確な検査結果を報告し、的確な診断・治療を支えています。
	病理診断科	迅速、高精度な病理診断を行って当センターの診療を支えています。
	呼吸器内視鏡内科	最新の機器による高精度での確な診断と治療を行っています。
研究部門	臨床研究センター	新しい診断治療法の研究・開発により、医学の発展及び人材育成を目指しています。
	次世代創薬創生センター	臨床の現場から、次世代の診断・薬剤・治療法のシーズを見出すことを目指しています。

# 学会・施設認定等

呼吸器・感染症・アレルギー医療部門	WAO center of excellence
	日本内科学会認定医制度教育関連病院
	日本外科学会外科専門医制度修練施設
	日本呼吸器学会内科系外科系指導施設
	日本呼吸器学会認定施設
	日本臨床腫瘍学会認定研修施設
	日本がん治療認定医機構認定研修施設
	日本呼吸器外科学会指導医制度認定施設
	日本胸部外科学会認定医認定制度指定施設
	日本呼吸器内視鏡学会認定施設
日本アレルギー学会アレルギー専門医教育研修施設	
日本リウマチ学会教育施設	
日本皮膚科学会認定専門医研修施設	
日本小児科学会専門医研修施設	
日本眼科学会専門医制度研修施設	
日本耳鼻咽喉科学会専門医研修施設	
日本鼻科学会鼻科手術認可研修施設	
日本感染症学会認定研修施設	
一般医療部門	日本循環器学会認定専門医研修関連施設
	日本産科婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
	日本消化器外科学会修練関連施設
	日本乳癌学会認定施設
日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会エキスパンダー実施施設、インプラント実施施設	
中央医療部門	日本医学放射線学会放射線科専門医修練機関
	日本麻酔科学会麻酔科認定病院
	日本病理学会登録施設
	日本臨床細胞学会教育研修施設
	日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設
	日本医療薬学会医療薬学専門薬剤師研修施設
	日本緩和医療薬学会緩和医療専門薬剤師研修施設
薬学生実務実習受入施設	
認定臨床微生物検査技師研修施設	
日本超音波医学会認定超音波専門医研修連携施設	
日本呼吸療法医学会認定呼吸療法専門医研修施設	
全科	大阪府地域医療支援病院
	大阪府がん診療拠点病院(肺がん)
	大阪府アレルギー疾患医療拠点病院
	エイズ治療拠点病院
	日本医療機能評価機構病院機能評価認定病院
日本臨床栄養代謝学会認定NST稼働施設	

# その他の取組み

## 「大阪府アレルギー疾患医療拠点病院」

平成30年6月1日付けで、当センターは大阪府より「大阪府アレルギー疾患医療拠点病院」に指定されました。

拠点病院は、アレルギー疾患対策基本法に基づき、府民が居住する地域に関わらず、等しくそのアレルギーの状態に応じて適切なアレルギー疾患医療を受けることができるよう、アレルギー疾患医療の拠点となる病院です。

今後も、地域の多くの職種の方々と協働して、より一層の府内アレルギー診療の充実等に向けて取り組んでいきます。

### ■ 当センターの取組み

- アレルギー疾患の診療経験が豊富な内科、小児科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科領域の専門的な知識と技能を有する医師を常勤で配置し、重症及び難治性アレルギー疾患の患者に対し、関係する複数の診療科が連携して診断、治療、管理を実施
- 府民や地域の医療機関に対して、講演会・パンフレット・ホームページなどを通じて、アレルギー疾患に関する適切な情報を提供し啓発活動を実施
- アレルギー疾患医療に携わる医療従事者や学校、児童福祉施設などの職員に対する研修や講習を実施し、積極的に人材育成に関与
- アレルギー疾患の予防や患者のQOLの向上を目指して臨床研究を実施

## 地域に信頼され、地域になくてもならない病院へ

今年度より医師を増員し、診療機能を充実する消化器内科及び泌尿器科の特色を紹介いたします。

### 【消化器内科】

#### ～スクリーニング検査や健診異常の精査などにも取り組みます～

当科は本年度からは新たな2名の医師の着任により消化器検査、内視鏡治療、外来患者の積極的な受け入れを行っていく方針としており、近隣の医療施設とONE TEAMとなって、地域の信頼を獲得しつつ、数多くの患者様に対して確実な診断、安定した治療を提供していきます。具体的には、消化管（食道・胃・大腸）がんの早期診断のためのスクリーニング検査から早期がんに対するESD（Endoscopic Submucosal Dissection; 内視鏡的粘膜下層剥離術）治療までを一連の流れとして当院で行っていきたいと考えております。

そのために、ごく小さな早期がんを日常的に診断できるように、絶え間なく、診断技術の向上に取り組んでいく所存です。また、当院では検査時の嘔吐反射や疼痛が不安で検査に踏み切れない方にも消化管がんの早期発見、早期治療が介入できるよう、患者様のご希望に応じ、鎮静・鎮痛下での上下部消化管内視鏡検査を施行してまいります。

進行がんに対しては、消化器外科と定期的なカンファレンスを行い、緊密に連携して治療にあたっております。

胆道・膵臓疾患（総胆管結石、閉塞性黄疸等）に対しては、積極的な内視鏡インターベンション治療（乳頭切開術、各種ステント挿入など）が行えるような体制を早急に整えていきたく考えております。

さらには、近年増加している潰瘍性大腸炎・クローン病などの炎症性腸疾患（IBD; Inflammatory bowel disease）に対しても、5-ASAなどの基本治療に加え、当院では免疫調節剤やレミケード・ヒュミラなど生物学的製剤を用いた治療にも取り組んでいきます。周辺の専門施設との綿密な連携のもと、幅広い充実したIBD診療が享受できるよう研鑽を続けてまいります。

このように、当科では、幅広い分野に取り組んでまいり所存ですので、消化器疾患が疑われる場合はもちろんですが、スクリーニング検査や健診異常の精査など、お気軽にご紹介いただくと幸いです。

### 【泌尿器科】

#### ～手術症例や排尿困難などの泌尿器科的対応もしくは処置にも対応します～

泌尿器科は、大阪大学泌尿器科学教室、その関連病院および大阪府立病院機構関連センターとの密接な協力関係の下、尿路疾患から男性生殖器疾患、女性の骨盤疾患にいたるまで幅広い領域の診療を行っています。当科はいろんな診療科の中でも特に低侵襲医療に深く関わっている診療科であり検査や手術などは内視鏡や腹腔鏡を用いることが多く、患者様への身体的負担および疼痛は可能な限り軽減されています。

当センターの泌尿器科は、令和2年4月に開設され、それ以来常勤1名、非常勤2名にて外来診療を中心として行ってきました。令和3年4月より常勤医師が3名、非常勤2名に増員され医療体制が充実し、外来診療はもちろんのこと手術などを含む入院診療が可能となりました。各診療科と提携しセンターの医療機能充進に努めたいと考えています。また、当センター内だけでなく近隣の医療機関との連携を更に密にして地域医療にも貢献していく所存でございます。よろしくお願い申し上げます。

手術治療につきましては、腹腔鏡下手術（腎・副腎など）、内視鏡手術（膀胱）、内視鏡とレーザー装置を用いて行う手術（前立腺・尿路結石）など低侵襲な手術を中心に行い、その他一般的な泌尿器科手術も行っていく予定です。さらに令和4年度中に新病院が完成予定ですが、新病院開院後には最新医療である前立腺がんに対するロボット手術（ダビンチ手術）を導入する予定です。将来的には診療状況に応じて腎部分切除術、膀胱全摘除術および腎盂形成術などロボット手術の適応拡大も考えていくことになると思います。

現在50歳以上の男性の前立腺がんが著しく増加しています。前立腺特異抗原（PSA）値が異常値であれば前立腺生検が適応となります。もしよろしければ貴院に60歳以上の男性患者がいらっしゃいましたらPSA値の測定をお願いしたく存じます。万が一、異常値であれば当科にご紹介ください。その他、肉眼的血尿あるいは尿潜血陽性の患者様、排尿障害、尿失禁を訴える患者様は泌尿器科悪性腫瘍や前立腺肥大症など可能性があります。また前述しました手術治療に該当する可能性のある患者様がいらっしゃいましたらお気軽にご紹介ください。

今後、高齢化社会が進みいろんな診療現場で排尿困難などの泌尿器科的対応もしくは処置が必要となる機会が多くなることが予想されます。お困りの際にはお気軽に声をおかけください。

今後当センター泌尿器科をよろしくお願い申し上げます。



診療の特色

- 慢性閉塞性肺疾患（COPD）、間質性肺炎をはじめとするびまん性肺疾患、肺感染症、睡眠時無呼吸症候群など様々な疾患の診断と治療。さらにそれらの疾患に対し、必要時に呼吸リハビリテーションの実施、呼吸器集中治療部（IRCU）での集中治療など、包括的、全人的呼吸ケアを実践。
- 在宅酸素療法、非侵襲的陽圧換気療法、CPAPを行っている多くの患者さんの診断・治療。
- 外来に呼吸器看護専門外来を併設、専門性の高い看護師によるセルフマネジメント支援や地域の医療従事者との連携により患者さんのQOL向上をめざす。
- COPD 教育入院（2泊3日）、酸素流量調整入院（1週間）、CPAP 導入入院（2泊3日）。
- 身体障害者福祉法に基づく呼吸機能障害や特定疾患（呼吸器疾患）の申請。

スタッフ紹介

医師名	職名	認定医・専門医・指導医
まつおか ひろと 松岡 洋人	主任部長 呼吸器研究室室長 呼吸ケアセンター長	日本内科学会総合内科専門医・指導医 日本呼吸器学会専門医・指導医
うまこし たいせい 馬越 泰生	医長	日本内科学会総合内科専門医
たむら かなこ 田村 香菜子	医長	日本内科学会総合内科認定医、日本呼吸器学会専門医
もりした ひろし 森下 裕	リハビリテーション科主任部長	日本内科学会認定医、日本呼吸器学会専門医、日本医師会認定産業医



診療の特色

- 肺がん、悪性胸膜中皮腫などの胸部悪性腫瘍を中心に診断、治療、緩和ケアまで一貫して実施。
- 気管支鏡や胸腔鏡を用いての高精度の診断、気道狭窄に対する腫瘍除去術やステント留置術、気管支充填術などインターベンション治療。
- 外来化学療法科と連携して、外来での抗がん剤治療を実施。
- がん薬物療法専門医（腫瘍内科医）を中心に、専門性の高い看護師、薬剤師等とのチーム医療でがんに伴う種々の症状緩和など、高いQOLの維持をめざす。
- 地域の在宅往診可能な医師と連携して、緩和ケアがシームレスで行われるよう取り組みを推進。

スタッフ紹介

医師名	職名	認定医・専門医・指導医
すずき ひでかず 鈴木 秀和	主任部長 外来化学療法科主任部長	日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本呼吸器学会専門医・指導医 日本呼吸器内視鏡学会専門医
おかもと のりお 岡本 紀雄	呼吸器内視鏡内科主任部長	日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医 日本呼吸器内視鏡学会専門医・指導医、評議員、日本呼吸器学会専門医・指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本臨床腫瘍学会認定がん薬物療法専門医・指導医
もりした なおこ 森下 直子	外来化学療法科副部長	日本内科学会認定内科医、日本呼吸器学会専門医、日本呼吸器内視鏡学会専門医
たなか あやこ 田中 彩子	医長	日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医、日本呼吸器学会専門医 日本呼吸器内視鏡学会専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本臨床腫瘍学会認定がん薬物療法専門医

スタッフ紹介

医師名	職名	認定医・専門医・指導医
もりいづみ かずのり 森泉 和則	診療主任	日本内科学会認定医、感染制御医（ICD）、日本医師会認定産業医
やまだ ともき 山田 知樹	診療主任	日本内科学会認定医
さかい しゅんすけ 酒井 俊輔	医員	日本内科学会認定医
やなせ たかふみ 柳瀬 隆文	医員	
おかだ ひでやす 岡田 英泰	医員	日本内科学会認定医 緩和ケア研修修了
おかく ふくこ 岡部 福子	医員	緩和ケア研修修了
あさかわ りょう 朝川 遼	レジデント	
こうじたに よしき 糀谷 嘉起	レジデント	



診療の特色

- 呼吸器外科および胸部外科指導施設。
- 肺、縦隔の疾患に対して、年間300例を超える手術を実施し、胸腔鏡下手術による低侵襲な外科治療を施行。
- 肺腫瘍内科・放射線治療科と連携し、集学的肺癌治療を実施。
- 低肺機能・合併症併存症例に対する肺機能を温存する外科的治療を実施。

スタッフ紹介

医師名	職名	認定医・専門医・指導医
かた よしひさ 門田 嘉久	主任部長 気胸センター長	日本外科学会指導医、日本胸部外科学会認定医、日本呼吸器外科学会専門医 日本がん治療認定医機構認定医、大阪大学医学部臨床教授
きたはら なおと 北原 直人	副部長	日本外科学会専門医、日本呼吸器外科学会専門医、日本がん治療認定医機構認定医
すぎうら ゆうすけ 杉浦 裕典	医員	緩和ケア研修修了
あんどう こうしろう 安藤 紘史郎	医員	緩和ケア研修修了
ふくやま かおる 福山 馨	医員	緩和ケア研修修了

# リハビリテーション科

急性期から慢性安定期の  
リハビリテーションを実施



診療の特色

●呼吸リハビリテーション

入院患者を対象として、主に①運動時の評価、必要酸素吸入量の設定、②病態に合わせた呼吸法や呼吸困難感を緩和できる日常生活動作方法の指導、③適切な運動負荷の設定や運動の処方など、を提供。

●摂食・嚥下リハビリテーション

入院患者を対象として、嚥下内視鏡検査、嚥下造影検査を用いた詳細な評価と言語聴覚士による治療介入を実施。また、耳鼻科医師・歯科医師・看護師・薬剤師・言語聴覚士等によって構成された嚥下サポートチームによる回診を実施。

スタッフ紹介

医師名	職名	認定医・専門医・指導医 / 専門・認定・資格
もりした 森下 裕	主任部長	日本内科学会認定医、日本呼吸器学会専門医、日本医師会認定産業医
あいた 相田 利雄	理学療法士	日本理学療法士協会専門理学療法士（内部障害理学療法 呼吸） 3学会合同呼吸療法認定士、呼吸ケア指導士（初級）
なかほら 中原 千里	理学療法士	
いばらぎ 茨木 茉唯	理学療法士	
なかがわ 中川 勇希	作業療法士	福祉住環境コーディネーター2級
おおくろ 大黒 大輔	言語聴覚士	日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士 日本言語聴覚士協会認定言語聴覚士（摂食嚥下領域）

# 感染症内科

結核は過去の病気ではありません



診療の特色

- 主な対象疾患…結核、非結核性抗酸菌症（非定型抗酸菌症）ならびに結核後遺症としてよく見られる肺アスペルギルス症等。
- 入院患者全員を対象に看護師による対面服薬確認ならびに結核に関する勉強会（院内DOTS）を実施。
- 通院可能となった患者は、院内DOTSカンファレンスで治療終了時期を決定し、保健所と協力して退院後の服薬支援を実施。
- 院内DOTS並びに院内DOTSカンファレンスへは、全国の保健所や病院から見学に来られる等、当センターの結核治療向上への取組は高く評価されています。
- 感染症内科外来は、一般外来とは別棟の「感染症センター」で診療を実施。
- 結核疑い患者は、診断が確定するまでは陰圧換気個室に入院。
- 感染症内科外来ならびに感染症病棟には高換気機器や空気殺菌器を設置し、感染症内科外来に排菌患者専用の待合室を設ける等、院内感染防止対策を徹底。

スタッフ紹介

医師名	職名	認定医・専門医・指導医
ながい 永井 崇之	主任部長	日本感染症学会推薦ICD
きたじま 北島 平太	医員	日本内科学会認定医、日本エイズ学会認定医
かりや 仮屋 勇希	レジデント	
はしもと 橋本 章司	臨床研究センター長	日本感染症学会推薦ICD、日本内科学会総合内科専門医 日本呼吸器学会呼吸器専門医、日本アレルギー学会アレルギー専門医 日本感染症学会専門医、日本結核病学会結核・抗酸菌症指導医 日本臨床研修協議会プログラム責任者
たむら 田村 嘉孝	臨床検査科主任部長 感染症センター長	日本結核病学会結核・抗酸菌症指導医、日本公衆衛生学会認定専門医 日本結核病学会推薦ICD
はん 韓 由紀	アレルギー内科副部長	結核・抗酸菌症指導医

# アレルギー内科

気管支喘息や関節リウマチなどの免疫関連疾患の  
最先端医療



診療の特色

- 喘息を中心としたアレルギー疾患の内科的な診療を行うとともに、関節リウマチの診療に注力。最近10年間で、これらの疾患の治療は大きく変化して、対症療法から、炎症を制御する本質的な治療に変化。特に抗体製剤などの分子標的薬は、ステロイドのように広範囲に作用する薬剤と異なって、疾患の原因となっている標的に特異的に作用することで、副作用の少ない有効な薬剤であることが期待。私たちは、この大きな流れに沿って、最先端の知識や技術を取り入れて、適切に治療を実施。平成28年から、喘息の新たな治療法として気管支鏡を用いて治療する気管支サーモプラスティを開始。既存の治療でコントロールの難しい患者さんがよい適応。
- ※当科で診療をご希望の方は、紹介状が必要になりますのでご注意ください。

スタッフ紹介

医師名	職名	認定医・専門医・指導医
みなもと 源 誠二郎	主任部長	日本内科学会認定医、日本アレルギー学会専門医・指導医 日本内科学会総合内科専門医、日本呼吸器学会専門医・指導医 日本リウマチ学会専門医、日本呼吸器内視鏡学会専門医・指導医
はん 韓 由紀	副部長	結核・抗酸菌症指導医
まつの 松野 治	副部長	日本内科学会総合内科専門医 日本呼吸器学会専門医・指導医 日本アレルギー学会専門医
いしだ 石田 裕	医員	日本内科学会認定内科医、日本リウマチ学会専門医 緩和ケア研修修了
おがた 緒方 篤	副院長	日本内科学会認定医・総合内科専門医、日本リウマチ学会専門医・指導医 日本リウマチ財団登録医、難病指定医、日本臨床免疫学会免疫療法認定医 日本医師会認定産業医 緩和ケア研修修了、臨床研修プログラム責任者養成講習会修了

# 小児科

小児のアレルギー・呼吸器疾患の専門治療、  
一般小児疾患にも広く対応



診療の特色

- 気管支喘息（特に難治性喘息）などの呼吸器疾患の総合治療を実施。
- 食物アレルギーの治療に力を入れており食物経口負荷テスト、経口免疫療法を積極的に実施。
- 心理的な側面が大きく関与するケースには、臨床心理士が治療に参加。
- 病棟保育士により幼児の入院に対応。
- 地域連携を図り、一般小児科疾患の入院にも可能な限り対応。
- 小児結核の治療、結核家族検診（小児）を実施。
- 敷地内に小・中学校（大阪府立羽曳野支援学校）があり、入院中の教育も可能。
- 新生児はNICU（3床）を併設。またレスパイト入院を実施。
- 本年4月より、小児循環器外来を開設。（詳しくは地域医療連携室にお尋ねください。）

スタッフ紹介

医師名	職名	認定医・専門医・指導医
かめだ 亀田 誠	主任部長	日本小児科学会専門医・指導医、日本アレルギー学会専門医
よした 吉田 之範	部長	日本小児科学会専門医・指導医、日本アレルギー学会専門医・指導医
たかおか 高岡 有理	副部長	日本小児科学会専門医・指導医、日本アレルギー学会専門医 日本医師会認定産業医
しげかわ 重川 周	医長	日本小児科学会専門医
ふかさね 深澤 陽平	医長	日本小児科学会専門医・指導医
つりなが 釣永 雄希	診療主任	日本小児科学会専門医、日本アレルギー学会専門医、日本小児感染症学会小児感染症認定医 日本結核・非結核性抗酸菌症学会結核・抗酸菌症指導医
うえの 上野 瑠美	診療主任	小児科専門医
やまくち 山口 智裕	レジデント	
くもん 九門 順子	レジデント	小児科専門医

皮膚科

アレルギー性皮膚疾患、重症・難治性皮膚疾患の専門治療



診療の特色

- I 皮膚に関するアレルギー性疾患の専門治療
  - 1 アトピー性皮膚炎治療（特に重症例・難治例）に注力。
    - 確立された多職種患者教育システムによる治療効果の向上：乳幼児アトピー教室、アトピーサマースクール（小中学生対象、入院）、アトピーカレッジ（成人対象、入院）
    - 心身相関に留意した全人的医療：小中学生の入院治療では、大阪府立羽曳野支援学校と連携し不登校合併例にも対応
    - 豊富な経験に基づく、新規治療薬の適切な導入による重症例の長期寛解維持の達成、QOLの回復。
  - 2 食物アレルギー、薬剤アレルギー、接触皮膚炎の原因精査、加療。
  - 3 重症薬疹の入院加療（血漿交換を含む）。
- II アレルギー性疾患以外の難治性皮膚疾患全般に対応
 

水疱症、難治性湿疹、紅皮症、重症乾癬、脱毛症、膠原病（皮膚症状を主症状とするもの）など
- III 生物学的製剤による加療（アトピー性皮膚炎・乾癬・慢性蕁麻疹など）適応症例をみきわめ重症例に対して最善の加療を実施。
- IV 地域の皮膚科一般診療の二次、三次機関
 

带状疱疹、重症皮膚感染症、皮膚腫瘍（原則局所麻酔の範囲）手術などの入院加療
- V 皮膚科病棟20床（一般16、小児4）を有し、ほぼ随時入院加療が可能。

スタッフ紹介

医師名	職名	認定医・専門医・指導医
かたおか ようこ 片岡 葉子	主任部長 副院長 アトピー・アレルギーセンター長	日本皮膚科学会専門医、日本アレルギー学会指導医 日本心身医学会専門医
ひろせ はるな 広瀬 晴奈	医長	日本皮膚科学会専門医、医学博士
さかもと さちこ 坂本 幸子	診療主任	
あこめ じゅん 阿古目 純	レジデント	
ますだ ちかこ 益田 知可子	レジデント	
わたなべ さちな 渡邊 祥奈	レジデント	

眼科

アレルギー眼疾患、白内障、緑内障等眼科一般診療を実施



診療の特色

- 結核、重症呼吸器疾患患者の眼科手術が府内で唯一可能な病院。  
身体障害者福祉法に基づく視覚障害認定診断を実施。
- アレルギー性眼疾患  
アレルギー性結膜炎、春季カタル、花粉症だけでなく、ぶどう膜炎の症例も多数経験。
- 白内障  
超音波水晶体乳化吸引術による短時間手術が可能。
- 緑内障  
薬物治療を主に実施。
- 糖尿病網膜症  
マルチカラースキャンレーザーによる網膜光凝固や硝子体注射が可能。

スタッフ紹介

医師名	職名	認定医・専門医・指導医
こうのいけ じゅんすけ 鴻池 純輔	医員	

耳鼻咽喉科

アレルギー疾患の専門的治療と耳鼻咽喉科全般の総合的治療



診療の特色

1. 耳鼻咽喉科領域に関するアレルギー疾患を専門的に治療。
    - アレルギー性鼻炎 アレルギー性鼻炎の原因精査、アレルギー免疫療法（皮下免疫療法、舌下免疫療法）、内視鏡下鼻内手術
    - 好酸球性副鼻腔炎 内視鏡検査、画像検査、血液検査、組織検査を行い診断保存的治療、副鼻腔内視鏡手術
  2. 耳鼻咽喉科・頭頸部外科領域疾患における診断、治療、手術を実施。
    - 耳疾患、鼻副鼻腔疾患、咽頭喉頭疾患、頭頸部疾患（悪性腫瘍を除く）
- ※地域の医療機関との勉強会である「はびきの耳鼻咽喉科セミナー」を年1回開催。

スタッフ紹介

医師名	職名	専門分野	認定医・専門医・指導医
かわしま かよこ 川島 佳代子	主任部長 診療局長	鼻副鼻腔 アレルギー	日本耳鼻咽喉科学会専門医・指導医 日本アレルギー学会専門医・指導医 日本鼻科学会鼻科手術暫定指導医 厚生労働省認定補聴器適合判定医 日本耳鼻咽喉科学会認定補聴器相談医 身体障害者福祉法15条指定医 日本医師会産業医 大阪府難病指定医 厚生労働省臨床研究・治験従事者研修修了、緩和ケア研修修了 TNT（Total nutrition therapy）研修修了、嚥下機能評価研修修了 厚生労働省オンライン診療研修修了
はなだ ゆきこ 花田 有紀子	医長	気管・食道 耳鼻咽喉科一般	日本耳鼻咽喉科学会専門医・指導医、日本気管食道科学会専門医 厚生労働省認定補聴器適合判定医、日本医師会産業医 緩和ケア研修修了
おくの みか 奥野 未佳	診療主任	耳鼻咽喉科一般	日本耳鼻咽喉科学会専門医 緩和ケア研修修了、TNT（Total nutrition therapy）研修修了
かわべ たかなり 河辺 隆誠	医員	耳鼻咽喉科一般	嚥下機能評価研修修了、緩和ケア研修修了

循環器内科

心臓疾患の専門的治療と循環器全般の総合的治療



診療の特色

- 虚血性心疾患をはじめとする心臓疾患を中心に、肺循環疾患を含め循環器疾患全般にわたる診療。  
身体障害者福祉法に基づく心臓機能障害認定診断を実施。
- 虚血性心疾患、心筋症、心臓弁膜症、不整脈などの心臓疾患及び肺高血圧、肺循環障害
  - 急性心臓疾患（急性心筋梗塞、不安定狭心症、重症不整脈など）に対する集中治療
  - 冠動脈疾患、末梢動脈疾患に対するカテーテル治療、不整脈に対するアブレーション治療
  - 高血圧症、高脂血症、循環器系生活習慣病など

スタッフ紹介

医師名	職名	認定医・専門医・指導医
えづみ あきら 江角 章	主任部長	日本内科学会認定医、日本内科学会総合内科専門医 日本医師会認定産業医、日本循環器学会専門医
はらだ ひろし 原田 博	副部長	
いうち あつひこ 井内 敦彦	副部長	日本心血管インターベンション治療学会認定医 日本内科学会認定医、日本内科学会総合内科専門医

一般医療部門

消化器内科

消化器系の悪性疾患をはじめ、消化器疾患にわたる診療



診療の特色

当科は、主に消化管（食道、胃、十二指腸、小腸、大腸など）疾患に対する消化器内視鏡検査、消化器内視鏡治療、薬物治療を実施。消化管関連癌に対しては、進行度に応じて外科、腫瘍内科、放射線科と連携し消化器内視鏡治療、腹腔鏡下手術、化学療法、放射線治療を組み合わせた集学的治療を提案。肝臓、胆嚢、膵臓疾患に関しても、エコー検査、CT検査、MRI検査、薬物治療を組み合わせた診断治療を実施。今後は、ERCP等の内視鏡診断治療も導入予定。

スタッフ紹介

医師名	職名	認定医・専門医・指導医
やまさき たかひさ 山崎 尊久	医長	日本内科学会認定医 日本消化器病学会専門医 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医 日本消化管学会認定医・専門医・指導医 日本食道学会食道科認定医 日本ヘリコバクター学会（ピロリ菌）感染症認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本医師会認定産業医 緩和ケア研修修了
いまむら のぶこ 今村 信子	医員	緩和ケア研修修了

一般医療部門

消化器外科

胃癌、大腸癌等の悪性疾患、胆石等の良性疾患、ヘルニア等の一般外科疾患の診療を実施



診療の特色

- 消化器癌に対する治療  
消化器癌に対する治療は治療ガイドラインに準じて行い、進行度に応じて外科、腫瘍内科、放射線科と連携し内視鏡治療、腹腔鏡下手術、化学療法、放射線療法を組み合わせた集学的治療を実施。内視鏡外科学会技術認定医も在籍し、患者に侵襲の少ない手術を行うよう取り組み。
- 良性疾患に対する手術  
胆嚢結石、ヘルニア、虫垂炎等の良性疾患に対する診療・治療。
- その他  
上・下消化管内視鏡は専門の消化器内科医師による質の高い診療を提供

スタッフ紹介

医師名	職名	認定医・専門医・指導医
みやざき さとる 宮崎 知	主任部長	日本外科学会認定医・専門医・指導医 日本消化器外科学会専門医・指導医・認定医 日本消化器病学会専門医、日本内視鏡外科学会技術認定取得 消化器がん外科治療認定医、がん治療認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本がん治療認定医機構暫定教育医 日本胃癌学会・肝胆膵外科学会・近畿外科学会評議員、臨床研修指導医 緩和ケア研修修了
いけだ きみまさ 池田 公正	部長	日本外科学会認定医・専門医・指導医 日本消化器外科学会認定医・専門医・指導医 消化器がん外科治療認定医、難病指定医、臨床研修指導医 臨床研究・治験従事者研修修了、医療コンフリクトマネジメント研修修了 緩和ケア研修修了
さかた かずや 酒田 和也	副部長	日本外科学会認定医・専門医・指導医 日本消化器外科学会専門医・指導医 消化器がん外科治療認定医 近畿外科学会評議員、日本大腸肛門病学会専門医（外科） 緩和ケア研修修了
にしたに あきこ 西谷 暁子	副部長	日本がん治療認定医機構がん治療認定医 臨床研修指導医 日本外科学会専門医 日本緩和医療学会PEACE指導者研修修了
の ま としき 野間 俊樹	診療主任	緩和ケア研修修了

一般医療部門

乳腺外科

乳がんの標準治療（外科治療、薬物療法、放射線治療）、乳がん再発治療を実施



診療の特色

- 乳がんの早期発見と個別化治療  
受診患者には主に視触診、マンモグラフィ、超音波検査を行い、異常が認められれば穿刺吸引細胞診や針生検、マンモトーム生検などの病理検査を実施。さらに乳がんの発見の感度が高いと言われている乳腺専用のコイルを用いた乳房MRI撮影を行い、画像診断と病理診断の整合性を確認した上で、乳がんと診断された患者には個々に合わせた治療を実施。乳房温存療法でセンチネルリンパ節生検を行う患者にはリンパ節転移が2個以下の場合には腋窩リンパ節郭清の省略も行い、術後のQOLも重視した治療を実施。また組織の免疫染色で乳がんのタイプ分類を行い、それぞれのタイプに合った薬物療法も実践。当院は放射線科と連携し、乳癌術後放射線療法などを当施設で実施可能。
- 乳がん晩期再発の診断と治療  
晩期再発は乳がんの手術治療が終わって5年以上経過して再発すること。通院を終了している患者もあり、突然咳や痛みなどの症状で来院される方や、術後10年以上経過して再発する患者もある。この診断には画像診断だけでなく、転移、再発部位の組織診断が重要。当院では晩期再発を疑う患者には積極的に再発部位の組織採取を行い、病理医、腫瘍内科医、放射線科医と一緒に晩期再発の診断を実施。また再発患者に対する緩和治療も実施。
- 乳房再建  
形成外科医と連携して乳房再建術も実施。自家組織（広背筋、腹直筋）や人工乳房（インプラント）の再建など個々に合わせた乳房再建を実施。

スタッフ紹介

医師名	職名	認定医・専門医・指導医
あづみ たつや 安積 達也	主任部長 乳腺センター長	日本外科学会外科専門医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医 マンモグラフィ読影医、日本乳癌学会乳腺専門医・指導医 乳腺超音波技術認定医、日本医師会認定産業医

一般医療部門

産婦人科

産科から婦人科悪性腫瘍まで、あらゆる疾患に対応



診療の特色

- 産婦人科としては、羽曳野・藤井寺・柏原市域における最大の施設。産婦人科救急（24時間医師が在院）にも対応。
- 産科**
- 充実した体制の下、無痛分娩を含めた満足度の高い出産（立会い出産・母乳保育）を提供。
  - 助産師（常勤）による、育児・母乳相談を実施。
  - 小児科専門医による1ヶ月健診を実施。
- 婦人科**
- 膣式手術（子宮筋腫、子宮脱等）、子宮鏡手術、腹腔鏡手術（卵巣腫瘍、不妊等）、悪性腫瘍根治手術を実施。
  - 放射線療法（進行子宮頸部癌についても積極的に対応）も実施。
  - 悪性腫瘍治療の化学療法の一環として、遺伝学的検査も実施。
  - 思春期・更年期障害、尿失禁などの女性ヘルスケアにも対応。
- 不妊**
- 人工授精まで対応（体外受精は除く）。

スタッフ紹介

医師名	職名	認定医・専門医・指導医
あかだ しのぶ 赤田 忍	主任部長	奈良県立医科大学臨床教授、奈良県立医科大学非常勤講師 日本産婦人科学会認定指導責任者、産婦人科専門医、母体保護法指定医
やすかわ ひさよし 安川 久吉	副部長	日本産婦人科学会認定指導医、産婦人科専門医、母体保護法指定医
おがわ けんじ 小川 憲二	診療主任	日本産婦人科学会認定指導医、母体保護法指定医、超音波専門医 日本周産期・新生児医学会周産期専門医（母体・胎児）
なかの かずとし 中野 和俊	診療主任	日本産婦人科学会認定専門医、母体保護法指定医、超音波専門医 日本胎児心臓病学会胎児心エコー認証医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医
にしかわ きょうへい 西川 恭平	医員	日本産婦人科学会専攻医

泌尿器科

泌尿器科領域のあらゆる疾患に対応



診療の特色

- 令和2年4月より泌尿器科外来を開設、令和3年4月より入院受入開始。
- 副腎、腎臓、尿管、膀胱、前立腺、精嚢、尿道、精巣、陰茎、陰嚢に関する泌尿器科疾患全般を扱い、前立腺癌検診、超音波診断、CT、MRIなどの画像診断、尿流量測定などにより泌尿器科専門医が専門的な治療を提供。

スタッフ紹介

医師名	職名	認定医・専門医・指導医
ふくい 福井 辰成	主任部長	日本泌尿器科学会認定専門医・指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 身体障害者福祉法指定医（腎臓機能障がい） 臨床研修指導医、日本医師会認定産業医 緩和ケア研修修了
おおくさ 大草 卓也	診療主任	日本泌尿器科学会認定専門医 緩和ケア研修修了
やまぐち 山口 誓司	院長	日本泌尿器科学会認定専門医・指導医 日本泌尿器内視鏡学会腹腔鏡技術認定医 日本内視鏡外科学会泌尿器腹腔鏡技術認定医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本内分泌外科学会認定専門医・指導医 タ・ヴィンチサージカルシステム認定医、泌尿器ロボット支援手術プロクター

麻酔科

重症の低肺機能患者の周術期管理にも対応



診療の特色

- 麻酔・周術期管理**  
院内診療科の全身麻酔、硬膜外麻酔、脊椎くも膜下麻酔を担当。  
一般的な合併症症例をはじめ、様々な呼吸器系合併症症例の麻酔管理に対応。  
特に、慢性閉塞性肺疾患、喘息を合併した症例や、結核やその他の呼吸器感染症の治療中や治療直後の症例、さらには、進行し在宅酸素療法を必要とする重症の低肺機能症例や気道狭窄症例の周術期管理にも対応。外科系全診療科と術前症例検討会を行って、術前問題点についての検討や必要な症例には術前管理に関する助言を実施。術後全身管理に関しても、特に重症症例について積極的に助言・協力を実施。
- 術後疼痛管理**  
局所麻酔薬の持続硬膜外投与やオピオイドの持続静脈投与、あるいは各種末梢神経ブロックなどを用いて、術後疼痛に対し積極的に対応。
- ペインクリニック・緩和ケア**  
ペインクリニックは入院患者に対し、個別に対応。  
また緩和ケアに参画し、癌性疼痛患者の疼痛管理に助言・協力。

スタッフ紹介

医師名	職名	認定医・専門医・指導医
たかうち 高内 裕司	主任部長	日本麻酔科学会麻酔科指導医 日本集中治療医学会認定集中治療専門医 日本心臓血管麻酔学会日本周術期経食道心エコー認定医 大阪大学医学部臨床教授
はりま 播磨 恵	副部長	日本麻酔科学会麻酔科指導医

集中治療科

急性の呼吸不全や循環不全に対する高度な呼吸管理と専門医療を提供



診療の特色

- 集中治療とは、内科・外科を問わず、生命の危機にある急性期重症患者を、24時間の厳重な観察のもとに、先進医療技術を駆使して集中的に治療することで、救命し、病態の安定化および回復を図ることを目指す急性期全身管理医学。
- 集中治療専門医1名を有し、看護師、理学療法士、臨床工学士、薬剤師、呼吸ケアサポートチームとともに多職種からなる診療チーム（ICU診療チーム）を立ち上げ、日勤帯には集中治療室専任医師が常駐する体制で重症疾患治療部門を運営。
- 各専門診療科と連携して、院内および院外からの重症患者を受け入れ、ARDSやCOPD増悪、気管支喘息重責発作などの急性呼吸不全・慢性呼吸不全急性増悪を始め、ショック・心不全や急性腎障害、重症感染症など様々な重症病態・多臓器不全に対する集学的治療を実施。

スタッフ紹介

医師名	職名	認定医・専門医・指導医
かしわ 柏 庸三	主任部長	日本集中治療医学会認定集中治療専門医 日本内科学会認定総合内科専門医 日本呼吸器学会認定呼吸器専門医 日本呼吸療法医学会認定呼吸療法専門医・代議員 日本内科学会認定医

放射線科

CT、MRIや核医学検査などの画像診断、IVRおよび放射線治療



診療の特色

- 画像診断：**  
●CT検査、MRI検査、ラジオアイソトープ検査などを施行。  
●心臓の冠状動脈CT撮影（循環器内科担当）にも対応。  
●MRI装置は機器更新時に、乳腺専用コイルも、高精度なものに変更。  
●当施設は日本乳がん検診精度管理中央機構のマンモグラフィ（乳房エックス線写真）検診認定施設。  
平成25年度からは、乳腺外科外来での診療が開始。  
●単純CT、MRIやラジオアイソトープ検査は、地域医療連携室を経由して受託施行。画像診断報告書と画像を記録したCD-ROMは、原則1～2診療日以内に依頼いただいた医療機関に郵送。
- IVR (interventional radiology)：**  
●カテーテル手技や穿刺術を用いて、画像診断下に治療。  
●喀血（肺結核や肺真菌症など）に対する血管塞栓術、肝癌などに対する動脈内薬剤注入や血管塞栓術を、院内他科依頼にて施行。心臓カテーテル検査は、循環器内科で担当施行。  
●気管支鏡（呼吸器内視鏡内科などで施行）、子宮卵管造影（婦人科担当）なども施行。
- 放射線治療：**  
●放射線治療の外来予約は地域医療連携室へご連絡願います。放射線治療専門医とのご相談後、治療適応を決めさせていただきます。

スタッフ紹介

医師名	職名	認定医・専門医・指導医
たけした 竹下 徹	主任部長	日本医学放射線学会専門医、日本医学放射線学会研修指導者 日本インターベンショナルラジオロジー学会IVR専門医
つつみ 堤 真一	副部長	日本放射線腫瘍学会放射線治療専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
まつしま 松島 央和	医員	緩和ケア研修修了



診療の特色

- 肺がんを中心に消化器がん、乳がんなどの通院抗がん剤治療。
- 経験豊富な専任看護師を中心に、抗がん剤治療中の看護。
- 抗がん剤に精通した専任薬剤師を中心に、薬局で点滴治療薬の無菌調剤。

スタッフ紹介

医師名	職名	認定医・専門医・指導医
すずき ひでかず 鈴木 秀和	主任部長 肺腫瘍内科主任部長	日本内科学会認定内科医 日本内科学会総合内科専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本呼吸器学会専門医・指導医 日本呼吸器内視鏡学会専門医
もりした なおこ 森下 直子	副部長	日本内科学会認定内科医 日本呼吸器学会専門医 日本呼吸器内視鏡学会専門医



診療の特色

- アレルギーの原因を突き止めるために、多数のアレルゲン項目を測定。
- アトピー性皮膚炎の皮膚病変のモニタリングに有用なTARCの検査。
- 抗クリプトコッカス抗体、抗カビ抗体など免疫血清検査が充実しており、他施設からの依頼を受付。
- フローサイトメトリーで免疫機能の状態を調べる検査。
- 肺胞洗浄液から、アスベスト小体の検出や肺内の病気を調べる検査。
- 結核菌検査では、より効率の良い集菌、蛍光染色法を実施。喀痰中の結核菌の有無を迅速の場合、約15分で報告。
- LAMP法による結核菌の迅速検査。またLAMP法を利用してマイコプラズマの遺伝子検査。
- 長時間必要な結核菌の培養や薬剤感受性試験を最短2週間で報告。
- 睡眠時無呼吸症候群の検査（1泊）やその治療（2～3日の入院）
- 精密呼吸機能検査が充実しており、呼吸抵抗なども測定し、また測定結果から肺年齢を知ることが可能。精密呼吸機能検査については、地域連携を通じて依頼を受け、実施。
- 腹部、乳腺などの体表及び心臓の超音波検査。

スタッフ紹介

医師名	職名	認定医・専門医・指導医
たむら よしたか 田村 嘉孝	主任部長 感染症センター長	日本結核病学会結核・抗酸菌症指導医 日本公衆衛生学会認定専門医 日本結核病学会推薦ICD
おかざき よしひさ 岡崎 能久	副部長	日本内科学会認定医 日本消化器病学会専門医 日本医師会認定産業医
やまくち とおる 山口 徹	レジデント	日本内科学会認定内科医 日本医師会認定産業医



診療の特色

- 患者の身体から採取された組織や細胞を顕微鏡で観察し、それが良性か悪性かの確定診断を実施。
- 病理検査は病理組織診と細胞診の2つに分類。いずれも、治療方針の決定に重要な役割を担っている。
- 当科では地域医療支援の観点から、常勤病理医が勤務していない近隣6病院から術中迅速病理組織検査を引き受けている。
- 亡くなられた患者に対しては、遺族の承諾を得て病理解剖を行い、主治医と病理医で、臨床病理カンファレンス（CPC）を開催。CPCにおいて治療法の妥当性の検証や死因の徹底的な究明がなされ、そのような検討の積み重ねが、他の患者の治療方針にフィードバックされ、医学の進歩に貢献している。

スタッフ紹介

医師名	職名	認定医・専門医・指導医
かわはら くにみつ 河原 邦光	主任部長 医務局長	日本病理学会病理専門医・研修指導医・学術評議員 日本臨床細胞学会細胞診専門医・細胞診指導医・評議員 日本臨床細胞学会細胞診専門医会総務、大阪府臨床細胞学会理事 日本臨床検査医学会臨床検査管理医、日本臨床医学リスクマネジメント学会理事 日本石綿・中皮腫学会監事、環境省中央環境審議会専門委員 石綿確定診断委員会（厚生労働省委託）委員、大阪大学大学院医学系研究科招聘教授 奈良県立医科大学臨床教授、神戸大学医学部附属病院非常勤講師 厚生労働省死体解剖資格認定
うえだ かよ 上田 佳世	部長	日本病理学会病理専門医・研修指導医・学術評議員 日本臨床細胞学会細胞診専門医・細胞診指導医 日本臨床検査医学会臨床検査管理医 厚生労働省死体解剖資格認定



診療の特色

- 肺癌などの胸部悪性腫瘍に対し、内視鏡を用いた診断と治療。
- 超音波内視鏡や仮想気管支ナビゲーションなど最新の機器を導入し、高精度の診断。
- 挫滅が少ない大きな検体が採取できるクライオ生検（冷凍プローブによる生検）を開始。
- 胸水に対しては局所麻酔下胸腔鏡を用いて診断。
- スtent留置術、気管支充填術、気管支サーモプラスティなど、気道インターベンションも積極的に実施。

スタッフ紹介

医師名	職名	認定医・専門医・指導医
おかもと のりお 岡本 紀雄	主任部長	日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医 日本呼吸器内視鏡学会専門医・指導医、評議員 日本呼吸器学会専門医・指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本臨床腫瘍学会認定がん薬物療法専門医・指導医

# 臨床研究センター

医学と医療の進歩に貢献します



診療の特色

臨床研究センターは、平成18（2006）年4月に院内の診療科・検査科・感染対策チーム（ICT）と連携し「医学と医療の進歩に貢献する」ための臨床研究部として創設され、2017年4月より臨床研究センターに改称。現在、①結核・感染症、②免疫・アレルギー、③分子肺疾患（肺がん）、④呼吸器（COPDや間質性肺炎）の4領域で、患者の臨床検体と診療データを活用した新しい診断検査法・治療薬・発症予防法の開発と、その臨床治験を推進。また、院内診療科・検査科・ICTと共に、近隣施設の診療や感染対策への支援。

スタッフ紹介

医師名	職名	認定医・専門医・指導医
橋本 章司	主任部長 臨床研究センター長 結核・感染症研究室 室長 感染対策チーム委員長	日本感染症学会推薦ICD、日本内科学会総合内科専門医 日本呼吸器学会呼吸器専門医、日本アレルギー学会アレルギー専門医 日本感染症学会専門医、日本結核病学会結核・抗酸菌症指導医 日本臨床研修協議会プログラム責任者
片岡 葉子	免疫・アレルギー研究室 室長 皮膚科主任部長 アトピー・アレルギーセンター長 副院長	日本皮膚科学会専門医、日本アレルギー学会指導医 日本心身医学会専門医
門田 嘉久	分子肺疾患研究室 室長 呼吸器外科 主任部長 気胸センター長	日本外科学会指導医、日本胸部外科学会認定医 日本呼吸器外科学会専門医、日本がん治療認定医機構認定医 大阪大学医学部臨床教授
岡本 紀雄	腫瘍診断先端技術研究室 室長 呼吸器内視鏡内科主任部長	日本内科学会認定内科医、日本内科学会総合内科専門医 日本呼吸器内視鏡学会専門医・指導医、評議員、日本呼吸器学会専門医・指導医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医 日本臨床腫瘍学会認定がん薬物療法専門医・指導医
松岡 洋人	呼吸器研究室 室長 呼吸器内科 主任部長 呼吸ケアセンター長	日本内科学会総合内科専門医・指導医 日本呼吸器学会専門医・指導医

# 次世代創薬創生センター

産学連携や公衆衛生上の危機に即応した研究を行います



診療の特色

近年、高度専門医療の提供は、医療シーズを橋渡しするTranslational Research（TR）部門と、医療ニーズからシーズを生み出すreverse TR部門が相乗効果をもって開発・提供するトレンドに深化しており、令和2年（2020年）8月に、reverse TR部門として次世代創薬創生センターを創設。次世代創薬創生センターは、rTRに不可欠な産学連携研究・開発を行うとともに、COVID-19のような公衆衛生上の危機に即応する研究も行い、府域医療水準の一層の向上にも寄与する。

スタッフ紹介

医師名	職名	認定医・専門医・指導医
松山 晃文	主任部長 次世代創薬創生センター長	日本内科学会認定内科医・総合内科専門医 日本循環器学会循環器専門医

# 看護部

理念：私たちは誠意と温かみのある、やさしい看護を実施します



特色

- 呼吸器、アレルギー、がん、感染症の分野で専門性の高い看護を提供。
- 専門性の高い看護師を中心に、チーム医療のファシリテーターとして活動を推進。
- 地域の訪問看護ステーションや他施設と連携し、退院支援・調整に積極的に取り組み。
- 自施設だけでなく地域全体の医療・看護の質向上に向けて、研修会や事例検討会を開催。

スタッフ紹介

看護師名	職名	認定資格
岡田 知子	看護部長	日本看護協会認定看護管理者

常勤看護師：382名 非常勤看護師：55名（2021年4月1日現在）

日本看護協会 認定看護管理者	1名
日本看護協会 慢性疾患看護専門看護師	2名
日本看護協会 小児疾患看護専門看護師	1名
日本看護協会 感染管理認定看護師	1名
日本看護協会 緩和ケア認定看護師	2名
日本看護協会 がん化学療法認定看護師	1名
日本看護協会 がん放射線療法認定看護師	1名
日本看護協会 慢性呼吸器疾患看護認定看護師	2名
日本看護協会 認知症看護認定看護師	1名
呼吸ケア指導士	7名
3学会合同 呼吸療法認定士	20名
日本小児臨床アレルギー学会 小児アレルギーエディケーター	10名

# 薬局

高度に専門化した薬物療法をサポートしています



特色

- 患者に安心して治療を受けていただくために、薬学的関与により、より有効で安全な薬物治療に貢献。
- ①がん専門薬剤師を中心とした専門知識を有する薬剤師が、抗がん剤治療をサポートし、患者の適正な投与管理を目的として、地域の保険医療機関及び保険薬局を対象に承認されたレジメンをホームページで公開。また、日本医療薬学会「がん専門薬剤師研修施設」の認定を受け、後進の指導に取り組んでいる。
- ②アレルギーに精通した薬剤師が、入院患者や小児科外来の喘息患児に対し、実際にデバイスを使用した吸入手技の練習を行い、個々の症状にあったきめ細かい吸入療法の指導を実施。また、感染症外来において、安全な薬物治療と服薬アドヒアランスの向上のため、抗結核薬の指導・説明を実施。
- ③AST（抗菌薬適正使用チーム）専従薬剤師を配置し、院内で使用する抗菌薬のサーベイランスやモニタリングを実施し、抗菌薬の適正使用に貢献。
- ④薬業連携の取り組みとして、手術予定の患者の入院前の服用中止薬のチェック、入院中の薬剤の変更及び注意点などをわかりつけ薬局に情報提供し、保険薬局と連携して服薬管理を実施。
- ⑤薬学6年制長期学生実務実習受入施設として、薬学部学生を積極的に受け入れ。

スタッフ紹介

医師名	職名
金銅 葉子	薬局長
木澤 成美	副薬局長

※常勤薬剤師	14名
日本医療薬学会 がん指導薬剤師	1名
日本医療薬学会 がん専門薬剤師	3名
日本病院薬剤師会 感染制御認定薬剤師	2名
日本病院薬剤師会 日病薬病院薬学認定薬剤師	7名
日本化学療法学会 抗菌化学療法認定薬剤師	3名
日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師	8名
日本結核病学会 抗酸菌症登録エキスパート	1名
日本臨床栄養代謝学会 栄養サポートチーム専門療養士	3名
日本緩和医療薬学会 緩和薬物療法認定薬剤師	2名
日本腎臓病薬物療法学会 腎臓病薬物療法認定薬剤師	1名

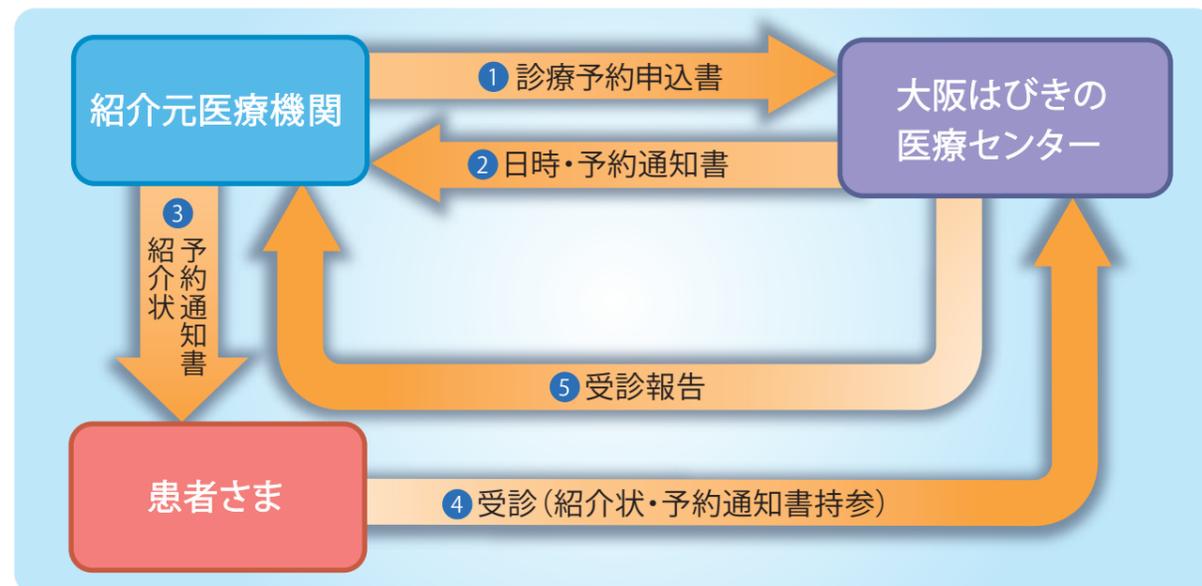
## 地域医療連携室のご案内

当センターでは、地域の医療機関の皆さまとの連携をスムーズに行うために、地域医療連携室を設置しています。地域の医療機関さまからの窓口として、紹介患者さまの受け入れ調整や、受診後の結果報告をはじめ、「開放病床」に関する業務などを行っております。患者さまをご紹介の際は地域医療連携室までご連絡ください。

- ▶ 手話通訳が必要な方にも対応できます
- ▶ 外国語通訳が必要な方は事前にご連絡ください

### ■ 患者紹介・診療予約 ■

TEL(通)：072-957-8030  
 TEL(代)：072-957-2121  
 FAX：072-957-8051  
 受付時間：9:00～17:30



- ① 診療予約申込書と診療情報提供書を地域医療連携室へFAX送信してください。  
FAXの場合、診療予約申込書をご利用ください。  
(診療予約申込書は巻末に掲載、HPからも利用できます。)
- ② 受診日時をFAXご連絡いたします。予約通知書をFAXいたします。
- ③ 患者さまに予約通知書と紹介状をお渡しください。  
\* 患者さまのカルテと診察券は事前に作成いたします。
- ④ 予約当日は予約時間の10分前に総合案内にお越しください。  
\* 感染症内科受診の際は、直接感染症内科外来にお越しください。
- ⑤ 患者さまが受診されたときは、紹介元医療機関に報告をいたします。

★検査(CT、MRI、アイソトープなど)だけの予約も受けておりますのでご利用ください。  
 検査予約申込書(FAX専用紙)にてお申し込みください。

### セカンドオピニオン

- 【対象診療科】呼吸器内科、肺腫瘍内科、呼吸器外科、感染症内科(結核)、消化器外科、乳腺外科、アレルギー内科
- 【内容】現在、他の医療機関に受診(入院)中で、今のままの治療でよいのか、他に治療がないのかなど判断できずに困っている患者さま、ご家族(同意書が必要)が対象です。
- 【手続き】面談を希望される方は、現在治療を受けておられる医療機関から、当センターの地域医療連携室にお問い合わせください。  
診療資料に基づき、当センターの専門医があらかじめ検討を行います。  
面接は完全予約制ですので、日時が決定しましたら医療機関あてに連絡いたします。  
健康保険等の対象とはなりませんので、自費負担(1回当たり22,000円)となります。

### 開放病床のご利用

- 当センターでは、ご紹介いただきました患者さまに入院が必要な場合、開放病院のご利用ができます。
- 紹介医と当センターとが共同して、より適切な医療を提供し、退院後が引き続き紹介診療所において治療をお願いするものです。事前に『登録医』として登録をお願いしております。ご利用および登録医申請の方法につきましては、地域医療連携室までお問い合わせください。

- 【開放病床】5床
- 【対象診療科】病床をもつ全診療科
- 【入院期間】3週間(21日)以内を原則としています。
- 【診療報酬】開放型病院共同指導料(あらかじめ患者さまへの説明をお願いいたします。)

登録医(開放型病院共同指導料Ⅰ)	病院(開放型病院共同指導料Ⅱ)
診察時(1日1回限り)	診察時(1日1回限り)
350点	220点

### はびきのメディカルネット

- 今年度より地域診療情報連携システムを導入しております。当センターへの紹介患者さまについて、患者さまの同意があれば、当センターでの診療情報(検査・処方・画像など)を、インターネット回線を利用して、閲覧していただくことができるものです。
  - ご紹介患者さまの治療経過を容易に把握し、当センターからの逆紹介時にも切れ目なく医療を提供することができ、病診連携の一層の向上に資するものと考えております。
- \*ご登録にあたり説明および資料送付等を希望される場合、地域医療連携室までお問い合わせください。

### 入退院支援センター

※入退院支援に関するお問い合わせは、担当者または内線2466までお願いします。

- 当センターでは2020年4月より入退院支援センターを設置し、専門の看護師および社会福祉士が、入院前支援・退院支援・医療福祉相談を行っております。患者さまとご家族さまが安心して入院治療が受けられ、退院後の生活を見据えた支援を行います。
  - 入院前から情報収集した内容を、病棟および退院調整看護師と共有、他職種と共同して退院調整を行っております。入院中の患者さまが在宅へ帰られる際には、かかりつけ医・ケアマネージャー・訪問看護ステーションとの連携を行い、合同カンファレンスを実施しています。入院前から退院まで切れ目のない連携と支援の充実を目指しております。
- \*治療終了後には出来る限り、紹介元での診療を再開していただけます。  
 地域の医療機関さまには、何かとご無理をお願いする場合がありますが宜しく願い致します。

### 問い合わせ・申し込み先

地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪はびきの医療センター  
 地域医療連携室 TEL:072-957-2121(代表) 072-957-8030(直通) FAX:072-957-8051  
 ※土・日・祝日・年末年始を除く 午前9時～午後5時30分

## 診 療 予 約 申 込 書

貴医療機関名 ( )  
 ご住所 (〒 )  
 貴医師名 ( )  
 電話番号 ( ) —  
 FAX ( ) —

■ 希望される受診科 ( 印を付けてください )

<input type="checkbox"/> 呼吸器内科	<input type="checkbox"/> 肺腫瘍内科	<input type="checkbox"/> 呼吸器外科	<input type="checkbox"/> 感染症内科	<input type="checkbox"/> アレルギー内科
<input type="checkbox"/> 消化器外科	<input type="checkbox"/> 消化器内科	<input type="checkbox"/> 乳腺外科	<input type="checkbox"/> 小児科	<input type="checkbox"/> 小児循環器専門外来
<input type="checkbox"/> 皮膚科	<input type="checkbox"/> 循環器内科	<input type="checkbox"/> 眼科	<input type="checkbox"/> 耳鼻咽喉科	<input type="checkbox"/> 産婦人科
<input type="checkbox"/> 泌尿器科	<input type="checkbox"/> 放射線治療	<input type="checkbox"/> その他		

希望医師名 ( )

■ 病名及び目的について～日本語でお願いします～

■ 受診を希望される日をご記入お願いします

・第1希望日( )	・第2希望日( )	・都合の悪い日( )
<input type="checkbox"/> できるだけ早く <input type="checkbox"/> 1ヶ月以内の受診希望		

■ ご紹介いただきます患者さまについてご記入お願いします

フリガナ		性別	<u>※旧姓(名字変更の場合記入)</u>
患者氏名		男・女	
生年月日	大正・昭和・平成・令和 年 月 日	生まれ	( 歳 )
フリガナ			
住所	〒		
電話	( ) —	携帯電話	
当院受診歴	<input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有    ID番号 ( )		
患者状況	<input type="checkbox"/> 外来患者 ( <input type="checkbox"/> 貴院待機中 ※ 患者様がお待ちの場合はチェックして下さい ) <input type="checkbox"/> 入院患者 ( <input type="checkbox"/> 出来高算定 <input type="checkbox"/> DPC <input type="checkbox"/> その他 )		
保険	<input type="checkbox"/> 健康保険 <input type="checkbox"/> 生活保護 <input type="checkbox"/> 労災 <input type="checkbox"/> その他		
特記事項	ADL ( 独歩 ・ 車椅子 ・ ストレッチャー )		

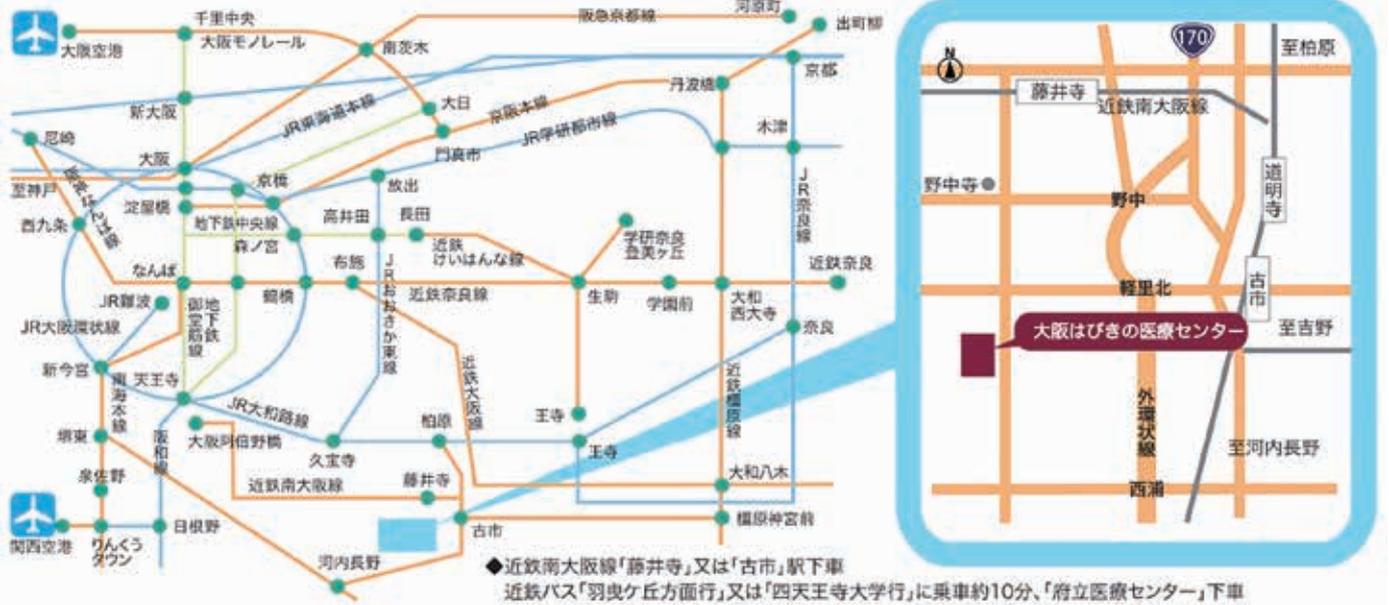
※ ご記入の上、**診療情報提供書**と共にFAXして頂きますようお願いいたします。  
 (貴院所定の診療情報提供書がない場合は、当センター専用用紙をご利用ください。ホームページよりダウンロード可能です。)

**予約通知書** は患者さまにお渡しください。

■ 患者さまが入院診療となる場合の開放病床利用についてご記入ください

<input type="checkbox"/> 開放病床として利用する	<input type="checkbox"/> 開放病床として利用しない
<input type="checkbox"/> 患者さまへ開放病床ご入院の趣旨を説明し同意を得ました	

## アクセス



◆近鉄南大阪線「藤井寺」又は「古市」駅下車  
近鉄バス「羽曳ヶ丘方面行」又は「四天王寺大学行」に乗車約10分、「府立医療センター」下車

## 外来診療のご案内

- 診療受付時間  
平日午前 8 時 45 分～午前 11 時  
※土曜、日曜、国民の祝日、  
年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）は休診

- 初診  
初診受付（1 階 1 番窓口）へお越し下さい。

### 【紹介制の導入】

以下の診療科の初診患者は紹介状が必要です。  
 ・呼吸器総合外来 ・呼吸器内科 ・肺腫瘍内科  
 ・呼吸器外科 ・感染症内科 ・アレルギー内科  
 ・皮膚科 ・耳鼻咽喉科

- 再診  
1 階の正面玄関前、産婦人科外来付近にある再来受付機で受付の手続きをお済ませください。

- ▶ 呼吸器疾患の対応について  
平日 9 時～17 時まで、夜間も診療しています。  
ご来院前には、必ず電話でお問い合わせください。

## センターのご案内

- ◎ 稼動病床数 426 床（一般 360 床、結核 60 床、感染 6 床）
- ◎ 設 立 1952（昭和 27）年 12 月
- ◎ 開 設 者 地方独立行政法人大阪府立病院機構  
〔2006（平成 18）年 4 月法人化〕
- ◎ 英語名称 Osaka Habikino Medical Center
- ◎ 主な役割・機能
  - ・大阪府地域医療支援病院
  - ・呼吸器疾患、肺がん、感染症、アレルギー性疾患医療センター機能
  - ・循環器内科、消化器外科、乳腺外科、産婦人科、眼科、泌尿器科などの一般医療
  - ・大阪府がん診療拠点病院（肺がん）
  - ・大阪府アレルギー疾患医療拠点病院
  - ・エイズ治療拠点病院
  - ・病院機能評価認定病院（3rdG:V2.0）

## — 肺ドックのご案内 —

- 当センターでは、肺ドックを行っております。  
喫煙者も、禁煙した方も、吸ったことない方も年に一度、呼吸器の専門病院で肺の精密検査を受けることをおすすめします。  
その結果を専門医が診断いたします。

検査より 2 週間程度で「検査結果報告書」を送付いたします。

- 平日 9 時～15 時までいつでも受診可能！！  
※受診希望日の 2 週間前までにお申し込みください。  
毎週火曜日 17～19 時受診できます。  
※但し祝日は除く

## 所要時間／約 1 時間

コース	簡易	標準	精密
CT 検査	●	●	●
呼吸機能	—	●	●
血液検査	—	—	●
料金(税込)	¥10,180	¥12,220	¥18,330

※自由診療の為、保険適用ではありません。

- ご予約はホームページから



地方独立行政法人大阪府立病院機構  
大阪はびきの医療センター

〒583-8588 大阪府羽曳野市はびきの 3-7-1  
TEL: 072-957-2121(代表) FAX: 072-957-8051(地域医療連携室)  
HPアドレス: <http://www.ra.opho.jp/>

ホームページ

